

# 御前崎市歴史講演会

入場  
無料

要事前申込



なみまる ふうちゃん  
左馬助バージョン 祐椿尼バージョン

# 新野左馬助と

# 井伊直虎

「おんな城主直虎」の時代考証を通して



「新野左馬助公」 版画 光山房



「井伊直虎と虎松」 版画 光山房

開催日

平成29年

12月10日

午後1時20分～午後3時15分

【開場12時50分】

開催場所

御前崎市民会館

〒437-1692 御前崎市池新田5585番地

主催：御前崎市教育委員会

## 講師 小和田哲男氏



### ◆プロフィール

1944年 静岡市に生まれる  
1972年 早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了  
現在静岡大学名誉教授、文学博士、公益財団法人日本城郭協会理事長  
専門は日本中世史、特に戦国時代史で、主著「後北条氏研究」「近江浅井氏の研究」のほか、「小和田哲男著作集」などの研究書の刊行で、戦国時代史研究の第一人者として知られている。  
また、NHK総合テレビ「歴史秘話ヒストリア」およびNHK Eテレ「知恵泉」などにも出演し、わかりやすい解説には定評がある。  
NHK大河ドラマでは、1996年の「秀吉」、2006年の「功名が辻」、2009年の「天地人」、2011年の「江～姫たちの戦国～」、2014年の「軍師官兵衛」で時代考証をつとめ、2017年の「おんな城主 直虎」も担当している。

### ◆申込方法

電話又はFAX、メールで住所、氏名、年齢、電話番号等を添えてお申し込み下さい。  
※お預かりした個人情報は、本講演会の運営のみに使用させていただきます。

### ◆申込期間

平成29年11月1日(水)～12月1日(金)  
8:15～17:00

※ただし、土・日・祝日は除く。定員になり次第締め切り

### ◆申込・問合せ先

御前崎市教育委員会社会教育課

TEL(0537)29-8735 FAX(0537)29-8737 E-mail:shakyo@city.omaezaki.shizuoka.jp





# 新野左馬助公の紹介

フルネームでは新野左馬助親矩公と言います。

新野村三千石の領主で、今川氏の一族として代々「左馬助」を名乗っていました。新野舟ヶ谷城の城主、妻は奥山因幡守の妹。左馬助の妹は井伊直盛の妻、「おんな城主」となった井伊直虎の母でした。このことにより、新野村の領主だった左馬助公と井伊家とは、深い縁によって結ばれています。

永禄五年（一五六二年）、徳川四天王の一人、井伊直政の幼少期、家康と内通し、今川氏真への謀反を企んでいるとの噂を立てられた虎松の父・井伊直親は暗殺され井伊家は一族滅亡の危機に直面します。



「新野左馬助公」版画 光山房



その噂を拭うため、氏真に自らの命を賭け嘆願し虎松助命の許しを得て、井伊家を救った武将が新野左馬助親矩公です。永禄七年（一五六四年）、井伊直虎の伯父にあたる左馬助公は、その後浜松城の前身となる引馬城の戦で討死し新野家は代が途絶えてしまいます。

しかし、それから約二百六十年後の幕末、新野家は再興を果たします。それは虎松を救った恩義の人・新野左馬助公の名跡と忠節の精神を代々語り継いできた井伊家の子孫、時の大老・井伊直弼の兄井伊中守によるものでした。

〈虎松は後の徳川四天王の一人、井伊直政の幼名です〉

## 小和田哲男氏

### ●主な著書

『戦国の群像』	(学研新書)	2009年
『歴史ドラマと時代考証』	(中経の文庫)	2010年
『戦国の城』	(学研M文庫)	2013年
『名軍師ありて、名将あり』	(NHK出版)	2013年
『黒田官兵衛 智謀の戦国軍師』	(平凡社新書)	2013年
『戦国史を歩んだ道』	(ミネルヴァ書房)	2014年
『戦国武将』	(中公文庫)	2015年
『名城と合戦の日本史』	(新潮文庫)	2015年
『戦国武将の実力』	(中公新書)	2015年
『東海の戦国史』	(ミネルヴァ書房)	2016年
『井伊直虎 戦国井伊一族と東国動乱史』	(洋泉社歴史新書)	2016年
『家訓で読む戦国 組織論から人生哲学まで』	(NHK出版新書)	2017年



## 御前崎市歴史講演会 FAX申込票

FAX番号 (0537)29-8737

御前崎市教育委員会社会教育課 行

氏名		男女	年齢
住所	〒		
連絡先	電話	FAX	

〈注意〉複数名でお申し込みされる場合でも、代表者だけでなく全員が申込票に必要事項を記入してお申し込みください。

受付後、「入場整理券」をハガキでお送りします。

お預かりした個人情報は、本講演会の運営のみに使用させていただきます。